

平成22年度 学校経営方針

シカゴ日本人学校 校長 佐々木 英一

学校教育目標

「国際社会で信頼され活躍できる日本人、自ら考え、正しく判断でき、豊かな人間性をもった児童生徒を育成する」とし、次の児童生徒像を目指す。

- 1 進んで学び、基礎学力を身に付ける子
- 2 責任と協調と奉仕の精神を重んじる子
- 3 豊かな心を持ち、たくましく生きる子

重点目標

- 1 「基礎学力の充実・豊かな心とからだの健全育成」を図る。
 - (1) 教育課程の実施に当たって、新学習指導要領が示す学習目標や内容の確認を図り、年間学習指導計画に沿って計画的な学習活動を展開する。
 - (2) 激しい社会の変化に対応するために、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動できる能力の育成を図る。
 - (3) 教育内容の基礎基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努める。特に海外にあっては、日本語の基礎を身に付けるため、国語教育をあらゆる学習の基礎として重視する。
 - (4) 基礎的な体力の向上や健康の維持、責任と協調と奉仕の精神を重んじるなど、豊かな心とからだの健全育成を図る。
 - (5) 海外にあるという時間的・空間的な制約を克服するため、インターネットなどの情報・通信ネットワーク等を積極的に活用するなど、情報処理能力の基礎的な資質や能力を育成する。
- 2 「国際理解教育の充実」を図る。
 - (1) 現地校との交流、地域に根ざした教育活動を積極的に推進するとともに、各教科における現地の教育素材（風俗、習慣、自然、歴史、芸術等）をすすんで活用し、アメリカにある学校としての特性を生かした国際理解教育の充実に努める。
 - (2) 日米両国の文化や伝統を学びつつ、日本人としての自覚を育てるとともに、国際的な視野をもって世界の諸問題を解決しようとする力を育てる。
 - (3) 国際社会において、相手の立場を尊重しつつ自己の意思を表現したり、相手の思いを感受しようとしたりする、相互理解の能力を高める。
 - (4) 英語教育については、基礎的・実践的コミュニケーション能力の育成を重視し、計画的な指導と英語環境の充実に努める。